

一般質問

6月定例会では、6月23日から28日までの4日間にわたって、会派代表質問(6人)及び個人質問(13人)が行われました。

会派代表質問については会派ごとに2項目、個人質問については議員ごとに1項目、合計25項目を掲載しています。

(会派代表質問)

市民クラブ

交通費助成のICカード化について

問 昨年11月議会の厚生委員会において、交通費助成のICカード化への体制を整える事業費が、提案内容の検討が不十分であったため全額削除に至った。内容検討のうえ、再提案されるべきと考えるが、見解を伺いたい。

答 現在、交通事業者とも継続して協議を重ね、11月議会で指摘を受けた諸課題を解決すべく検討を行っている。今後も先行都市の実施状況や高齢者、障害者へのアンケート調査を踏まえ、引き続き交通事業者との協議を行いながら、実現に向けて努力していきたい。

自治会活動における各種募金への対応について

問 昨年の9月議会において、自治会にお願いしている各種募金活動のあり方について、自治会活動の負担を軽減する立場から廃止を含め改善を求めているが、その後の検討状況を示してほしい。

答 赤い羽根募金と歳末たすけあい募金の一括実施など負担の軽減については、自治会を通じた募金を廃止し、他の手法による募金や啓発活動に力を入れていく方向で関係団体との協議を進めている。



明政・自由クラブ

出島表門橋の早期架橋について

問 中島川対岸用地にかかわる事業認可もなされた今、出島表門橋については、着工に向けた環境が整ってきたものと考えているが、早期架橋に向けての決

意を伺いたい。

答 今年度は、旧出島橋のより具体的な歴史的考証を行うため、資料の収集に取り組み一方、用地交渉についても、地権者のご了解のもと、移転補償の算定基礎となる建物調査等も既に完了し、それらをもとに交渉を行っている。平成28年度の第Ⅲ期復元事業と同時期の完成を目指し今後も進めていきたい。



出島の風景

合併地区の振興について

問 合併後のまちづくりの基本となる市町村建設計画の未着手事業の実施時期について伺いたい。

答 市町村建設計画に掲載された137事業のうち、まだ着手できていない18事業については、計画策定後の状況の変化や他の事業への組みかえの検討、さらに地区内での事業の優先順位等を考慮しながら、見直しの作業を行っている。今後、できるだけ早期にその実施時期の明確化を図り、合併特例債や過疎債等の有利な財源を有効に活用し、着実な事業推進に努めていきたい。

公明党

市長のトップセールスへの意気込みについて

問 市長として、どの分野でトップセールスの展開を図ろうとしているのか。

答 長崎の経済を外向きの経済へと転換を図る上で、適切なタイミングでのトップセールスは必要かつ有効であると認識している。当初予算で、中国や韓国へのトップセールス関係経費を計上している。上海航路の復活や地元産品の販路拡大などアジアビジネスへの気運が高まっている中、機会を捉え積極的に動いていきたい。

上下水道事業マスタープランの推進状況と見直しについて

問 本市は、平成19年に上下水道事業マスタープランを策定し、行財政改革を推進してきたが、これまでの進捗状況と見直しの方向性について伺いたい。

答 上下水道料金のクレジットカードでの支払いの実施等の市民サービスの充実、収納事務・運転管理業務の民間委託や人員体制の見直しなどによる15億円を超える累積経済効果にみられ